



子育てチャンネル

わが子と一緒に過ごした幼児センター「子育て支援センター」の1年間を小林恵子さん、古高李奈さん親子に振り返っていただきました。

「東川に来て良かった〜！」

大阪から東川に来てもうすぐ4年が経ちます。泰晴が生まれてから知り合いもいなくなりました。引きこもりがちになり、出掛けるのはスーパーマーケットへの買い物のみ。実家の母へ毎日電話をする日々でした。

そんな生活に変化が訪れたのは3カ月健診の時。坂東（ひとみ）先生や神田（貴子）先生が「支援センターに出ておいで」と声をかけてくださったことでした。私達を他のお母さんに紹介していただき、それ以降だんだんと人とのつながりが広がっていきま

した。泰晴との日々は慌ただしく過ぎ、「あつ」という間に2歳になったように思います。2歳を過ぎ突然言葉が出だし、意思をはっきり伝えるように

なりました。

最近の趣味は、電車、バス、エレベーターなど。「がたんごとん乗りたい」「かっくん、かっくん、かっくん」「ピッ」。このフレーズを言わない日はありません。まちまで電車を見に行ったり、ひと駅電車に乗せたり…。

エレベーターを発見すると一目散に駆け寄り、引き止める爆発的な声が…。今の悩みは、このまま彼の意思を尊重させてしまつていいのだろうか、ということ。す。

「今一番かわいい」と言われ、親ばかりですが、それを痛切に感じるこの時期に仕事を始めることにしました。

大泣きする泰晴を預ける瞬間はとても切ないですが、その中でも彼の成長が垣間見え、頼もしく思える時もあります。東川での出会いのきっかけを作ってくれた支援センター、先生方、出会ったお母さんに本当に感謝しています。ありがとうございました。

泰晴2歳、小林恵子

「この1年を振り返って」

私が東川に来てから今年で2年目に入ります。慣れない土地での生活も、今ではだいぶ慣れてきました。

息子が生まれて3カ月が経つたころ、乳児健診へ行き、そこで先生が支援センターのことを教えてくれて、

よちよち教室に初めて行きま

した。最初は行くのがとても不安でたまりませんでした。でも「いつも家

に居て子どもと煮詰まるより、行って少しでも

気持ちが悪くなれたらいいな」と思い行ってみました。

みんな親切で、育児に悩んでいることなど相談に乗ってくれるし、なにより一番良かったのは、子どもが楽しそうにしていたことです。それ以降月に1度のよちよち教室へ行くようになり、気分転換を



しています。自宅ですと子どもと2人で居るとやっぱり煮詰まるので、センターに行く子どもも友だちと遊び、私もストレス発散になって良い場所だと思っています。

息子は最近1歳になって歩くようになりました。どこでもよちよち歩くので目が離せ

ません。「夏になったららもつと大変になるんだらうなあ」と思うと、

うれしいけれど「はあつ」って感じます。今は卒乳に

向けて頑張っています！でもなかなか思うように進みません。

おっぱいをあげられるのも残りわずか。一日一日大切にしていきたいです。最後に1年間ありがとうございました。

陽斗1歳、古高李奈